

姉妹都市交流の概要

ポート・フィリップ市と大府市の交流は、1985年11月セント・キルダ市（現：ポート・フィリップ市）のエルウッド・カレッジと愛知県立大府東高等学校が姉妹校提携を結んだことが契機となって始まりまし。1993年11月に姉妹都市提携を結び、2013年で20周年を迎えました。

1993年11月



福島務市長 ティム・コストロ市長

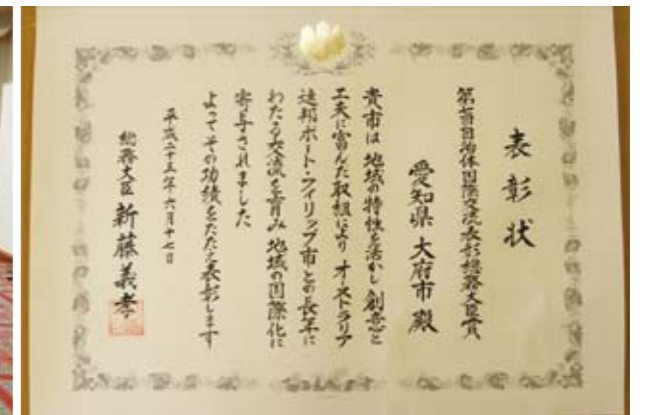
2013年11月



久野孝保市長 アマンダ・スティーヴンズ市長

2011年3月の東日本大震災発生後には、ポート・フィリップ市が震災復興支援イベントを開催し、義援金を大府市に届けてくれました。ポート・フィリップ市にて日本風に装飾した部屋で和菓子を提供して募った義援金約41万円は大府市を通じて、大府市の友好都市である岩手県遠野市へ送られました。両市の友情が震災復興支援という形になって現れたこと、姉妹都市、友好都市提携を通じて大府市が復興支援の橋渡し役を担えたことは、大府市にとって大変嬉しく、またポート・フィリップ市からの友情に深く感謝する出来事でした。

このような20年の長きにわたる広い分野での継続的な交流が評価され、姉妹都市提携20周年にあたる2013年、大府市はポート・フィリップ市との交流事業について「第7回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）」を受賞しました。



両市の交流は多くの分野に広がっています。

- 教育分野では、エルウッド・カレッジと大府東高校に続き、セント・キルダ小学校と大府市立石ヶ瀬小学校が姉妹校提携を結び、交流を始めました。また1994年より毎年、大府市はポート・フィリップ市への中学生海外派遣事業を実施し、国際的な人材の育成を目指しています。（18ページ）
- 環境分野では、ポート・フィリップ市の海岸に生息するフェアリーペンギン保護のための募金活動を行っています。またポート・フィリップ市より紹介されたオーストラリア発祥の地域清掃活動「クリーン・アップ・ザ・ワールド」を毎年9月に開催しています。（20ページ）
- 行政分野では、1998年より、市職員の交換派遣事業を実施しています。派遣された職員は相手の市の行政機能を学ぶとともに、自らの専門性を生かしたプロジェクトを実施します。交換職員とのふれあいは市民の皆さんの姉妹都市交流の機会にもなっています。（22ページ）

今後も大府市はポート・フィリップ市との交流を積み重ね、友情を育んでいきます。

